九月例定市議会

十五議案を審議

九月十一日から二十六日まで十六日間を会期に開かれた九月定例市議会で――

○…今年度も新栄町に市営住宅二十四戸を建設すること

○…市民会館前に市民プールとテニスコートをつくること

○…市役所の環境衛生課が環境整備課と名前を変え、これまで以上に幅広いしごとを進めること

○…教育委員に吉田彦衛氏を再任したこと――などが決まりました。

今議会では、補正予算案など十五の議案が市長から提案されたほか、二件の陳情・請願が審議されました。

この中で四十八年度水道事業会計決算の認定は、今後とも十分に審議を重ねるために継続審査となったほかは、いずれも原案のとおり議決・採択されました。

以下、今議会で審議された主なものについてご紹介いたします。

すすむ営市住宅の建設

今年度も二十四戸分を

16戸が計画される新栄町の建設用地

市では、住宅がなくて困っている人たちのため、古くなった木造の市営住宅を、住みやすい近代住宅にと、その建て替えを昨年度から進めています。

この春には、建て替え計画の第一弾、新栄町にデラックスな四階建て二十四戸分の市営住宅ができました。引き続き今年度は、同じ規模をもつ八戸分の住宅をこの建て物に増築する計画で、今議会では、工事請負会社と二つの契約の締結が認められ、工事も始まりました。

建て増しされる八戸分の住宅は、この春完成した建物と同じ五〇・九平方メートル（一五・四坪）の床面積で、野球場寄りに三千五十二万円のお金をかけて建設されるものです。

この春完成した近代的な四階建て市営住宅

もう一つは、この建物から南寄りの九戸分の住宅あとに六千四百八十万円の予算で、新しく十六戸分が建てられるものです。ここの住宅は、五七・七平方メートル（一七・四坪）と、これまでの住宅よりやや広い間取りがとられます。

なお、どちらの建て物も来年の三月末までには完成の予定で、二十八戸しかなかった建て替え前の住宅数が、来春には二十戸増えて四十八戸となります。

環境衛生課なくして

環境整備課を新設

住みよいまちづくり幅広く

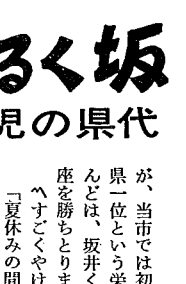
市民の立場に立って市役所のしごとを進めようと、「課設置条例」の一部が改正されました。

市役所には、いろいろな登録や証明など、市民のみなさんの日常生活に必要なことをお手伝いする窓口（課）がたくさんありますが、「課設置条例」は、これらのしごとの分担をいろいろと決めているものです。その窓口（課）の一つ、環境衛生課をこんどなくして「環境整備課」を新設。これまで以上に幅広いしごとを進めることになりました。

この「環境整備課」では、ごみなどを集めて処理したり、ねずみや害虫の予防など、今まで環境衛生課でやってきた豊かな日常生活をお手伝いするしごとのほかに、企画室で取り扱ってきた交通安全や公害防止・対策などのしごともいっしょに進め、さらに清潔な住みよいまちづくりに励むことにしたものです。

なお商工観光課には、市内に大勢いる恵まれない勤労者たちのために、新しく福利厚生なども考えるしごとが進められることになりました。

井くん表に―



坂井恒彦くんは学校でも人気者

二小六年生の坂井恒彦くん（新金沢町）が、先ごろ行われた県健康優良児審査会で、みごと男子の県代表に選ばれ、全国大会に出場することになりました。

真黒に日焼けした坂井くん。本当に健康そう。これならクロンボ大会にでても優勝は間違いなし。確か一昨年です。金津小だった小林優子さん（中村）が、当市では初めて健康優良児女子の県一位という栄誉に輝いたのは…。こんどは、坂井くんも負けじと県代表の座を勝ちとりました。

へすごくやけたねえ…

「夏休みの間、毎日プールで泳いでいたんです」

このおかげで市内の小学校水泳大会では、五十メートル平泳ぎで見ごと二位に入賞を果たしたとか。また、野球部にも籍を置くという万能選手。家に帰っても勉強が終われば「テレビとマンガが大好きです」と、卒直に話してくれる現代っ子です。

学校では、児童会の放送委員長をつとめ、成績もバツグンの人気者。「元気で明るくハキハキしています」とは、担任の小野先生評。

「県大会では、みんな体格のいい人ばっかしなので、よくても三位くらいかな」――と思っていたそうで、話しぶりからすると、かなり自信があったようです。健康優良児の審査は、大変きびしく、体位、学業はもちろんのこと、スポーツから生活態度にもおよぶとか。さすがは「県下一」の坂井くん。終始ハキハキとおちついた応待ぶりに感心させられました。

ハキハキ明るく坂

―健康優良児の県代

待望の市民プール

来春完成

テニスコート三面も

市民のスポーツ、レクリエーション施設として、待望の市民プールと、テニスコートが市民会館前に建設されることになりました。

今議会では、市民プールの工事契約も認められ、来年一月末の完成をめざし工事が始まりました。

市民プールは、長さ五十メートル、幅が十八メートルと八コースとれる本格的な競泳用のプールで、約四千四百万円のお金をかけて建設されるものです。

ここには、更衣室や事務室など、百三十五平方メートル（約四十一坪）の広さをもつ管理棟も設けられ、またプールサイドには、将来のことを考えて、児童用のプールとスタンド用地も計画されました。

テニスコートは、市民プールのすぐ隣り、二千三百八十四平方メートル（約七百二十三坪）の敷地に余ゆうをもった三面のコートとサクが設けられます。

プールにテニスコート、市民会館周辺は、市民のスポーツセンターの場として、大いに活用されるのももう間もなくです。

補正予算

新設校用地買収費不足分などに

1億1,430万円

一般会計補正予算は、教育費の六千九百四十一万八千円を最高に、歳入・歳出ともに一億一千四百三十万八千円が認められました。（主なもの）

○…失業対策のうちの就労者賃金改定分に五八五万六千円

○…東金沢農道改修工事（延長五百メートル）費として五九〇万円

○…側こう、土留、道路改良工事費に四九〇万円

○…秋葉公園道路の工事費ほかに三八〇万円

○…新設校の用地買収費の不足分に五、三四七万円

○…市民プール、テニスコート工事不足分に一八四〇万円

○…給食センター新設に伴う関係工事費などに一、二二二万六千円

事業活動によって出る〝燃えるごみ〟

機械計量の料金基準に

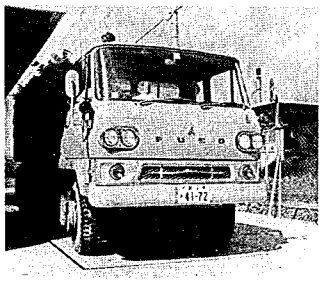
ごみとかし尿を、法律では「廃棄物」といっています。

今議会では「廃棄物の処理および清掃に関する条例」が一部改正されました。

事業活動によって出る〝燃えるごみ〟を処理する時、三十キロ以上になるとそれぞれのみなさんから焼却場に運んでもらい、その車の積載量によって〇・五トンきざみで手数料額が決められています。

こんど、この手数料額の基準が〇・五トンきざみの車の積載量から、機械によってその量をはかる料金基準に改められました。

これは、先ごろ完成した新しい焼却施設に、そのごみの量がどのくらいなのかを自動車ごとはかる機械が設けられたため、これまでの車の積載量に頼っていたおおよその計量がぐーんと明確になり、機械化されたものです。



ゴミの量は？計量機にのる自動車

なお、新しい料金体系は次のようになり、十月一日から適用されます。

●一回の搬入量が五百キログラム以下のもの…百キログラム につき百円

●五百キログラムを超えるもの…百キログラムにつき二百円――です。

また、百キログラム未満の端数は、百キログラムとされます。

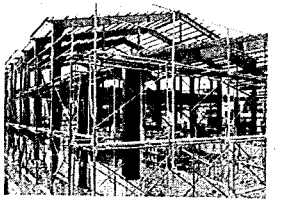
搬入手続きが簡単になります――＊

今まで、ごみを焼却場に運び込む前に、市役所の窓口でチケットを購入してもらっていましたが、こんど直接焼却場で手続きができることになりました。

ここでは、運び込まれたかたに納入通知書を渡します。この通知書をもらって十五日以内に市の金庫に納入するだけで済むものです。

建設中の学校給食センターの対象校

結小など六か校に



工事が進む学校給食センター

一日に四千食分がまかなえる学校給食センターの建設をいま小合小学校脇に進めていますが、今議会では、この共同調理場の対象校などが、新たに条例に加えられました。

○名称…新津市西部地区学校給食共同調理場

○対象校…結小、小合東小、小合小、一中、二中、小合中の六か校

教育委員に吉田氏再任

任期満了に伴う教育委員一名の任命、選任は、吉田彦衛氏が同意され、再任されました。

吉田　彦衛氏（大鹿）

六十四歳・無職